

各士業女性合同研修会とは、大阪の女性士業（公認会計士、司法書士、税理士、社会保険労務士、弁理士、弁護士）による任意団体が年1回開催する研修会で、今年も9月19日（土）に合同研修会と懇親会を開催しました。

テーマにもよりますが、例年100～200名がリアル会場に集まるこの企画、今年はコロナウイルス感染防止を考えると開催が難しいのではとの意見もありました。ですが、皆で話し合っ、オンライン開催を決定。ということで、史上初、Zoomウェビナーにより実施いたしました。

第1部の基調講演は、株式会社日本旅行所属、カリスマ添乗員の平田進也さんに講師をお願いし、「コロナ時代の顧客の心の掴み方」と題してお話いただきました。

皆さんの中には、平田さんのことをテレビやラジオでご存知の方もいらっしゃるかもしれません。吉本興業の芸人も真っ青なくらいの女装をして強烈な大阪弁でツアコンをするなど、お話も行動も一回みたら忘れない印象的な方です。ですがそれには理由がありました。



「笑い心のバリアを解く」平田さんの行動方針、その源は幼少の頃お父様からの教えがありました。「人には喜んでもらいなさい、商売ができるようになるにはまず先に信頼関係を作ってから。」びっくりするような女装も、美味しくてコスバの良

第22回各士業女性合同研修会開催報告

ダイバーシティ推進委員会 委員長 原 繭子

いお食事も、普段一人では行けない珍しいお店を手配するのも、お客様に喜んでいただくためであるとおっしゃっていました。そして「期待を裏切らない」ために、お客様の喜ぶことを考え、ネタを仕込み、お迎えするのだそうです。「旅行を売るのではなく、元気、コミュニケーションを売っている」とおっしゃる平田さんのお仕事ぶりから、ひたすらお客様の喜びをかなえること、例えうまくいかなかったとしても次の策を考え実行することを積み重ねることが、商売の原点のように思えま

した。講演、質疑応答も時間が許す限り積極的に、額に汗をかきながら力強くお話いただく姿はとても印象に残りました。



第2部は、「新型コロナウイルス感染症への影響」について、各士業から発表を行いました。公認会計士

からは北山久恵近畿会会長が登壇し、公認会計士の主たる業務である会計監査に着目した影響の数々や、日本公認会計士協会本部の対応など、詳しい報告がなされました。この研修会は複数の士業が集まっていることを最初にご紹介しましたが、各士業からの報告を行うと、その業界ごとの特徴が比較できて面白いです。例えば、司法書士の業界では法務局が業務ストップ、弁護士の業界では裁判所が業務ストップ、弁理士の業界では特許庁が業務ストップ、税理士の業界では国税庁が各種手続

受付延長、社労士の業界では複雑な手続で有名な雇用調整助成金の依頼急増など、士業それぞれで業務が前に進まない、進めにくい状況が紹介されました。さらに、お話を聞いてみると、各士業のクライアントのお困りごとにも具体的にわかりました。司法書士の業界では、不動産登記ができないことから、相続のお客様は困っておられたという話もあったようで、私たちもクライアントの立場になってみて感じる問題がよくわかりました。

懇親会は、Zoomのブレイクアウトルーム機能で8つの小部屋を作り、各部屋ごとに第1部および第2部の感想を話し合ったり、コロナ禍での対応の経験談を紹介しあったり。中には、話が弾んで「どこで開業されていますか？」などのマッチ

ングパーティ(?)さながらの部屋もあったりで、懇親会をきっかけに他士業との繋がりが生まれ、それぞれ自由なコミュニケーションが行われ、楽しい時間を過ごすことができました。

今回は、全てボランティアメンバーによる手作り感満載のオンラインセミナーで、運営上至らないところも多々あったと思いますが、お気づきの点についてはぜひご教示いただきたく存じます。そして、この経験を次に生かしたいと思います。

また、今回の懇親会はオンラインによる試みの側面を重視したため、女性のみ対象といたしましたが、例年はリアル懇親会で性別問わず参加可能としております。

上記のような内容でしたが、今回は、研修会に247名、懇親会に68名の方が全国から参加され、オンライン研修会の今後の可能性を感じさせるものとなりました。来年度の形式はまだ決まっておりませんが、今回の経験によりリアルの良さを再認識することにもなりました。来年度も実施いたしますので、リアルであってもオンラインであっても、皆様のご参加をお待ちしております。

